

## まつど未来づくり会議 会議録（要旨）

分科会名：都市経営分科会（第4回）

開催日時：平成21年10月20日（火）17時～20時40分

開催場所：議会棟3階第2委員会室

出席委員：新井靖、小林恵一、斉藤利信、清水一（分科会長）、竹林清、若林桂子（分科会副会長）、津川正治、加藤和彦、岡村隆秀（敬称略・順不同）

欠席委員：中村美枝子（敬称略）

事務局：白井宏之、田中千智（政策調整課）

傍聴者数：1名

### 【会議内容】

#### ■ 分科会長挨拶

- ・ 3回の会議を経て先が見えてきた感じがしているが、宣言文を掘り下げながら忌憚のないご意見を頂き市政に反映できればと思う。よろしく願いしたい。

#### ■ 第2回分科会の議事録の取扱いについて確認

- ・ 委員から修正の指摘はなく、議事録を確定することに決定した。

#### ■ 本日のねらい：「市民と行政のそれぞれの役割」と「指標」の検討

- ・ 前回まとめた「目指したい姿」の実現に向けて、市民と行政がそれぞれどんな役割を果たしていったらいいのかを検討する。
- ・ また、そうした役割を遂行していくことで、最終的にどんな状態に達したいのかを「指標」という形で表し、提言していく。

#### ■ 話し合いのルールの確認

- ⇒全ての意見に価値を置く
- ⇒人の話をよく聴く
- ⇒想いや考えは全体で共有する
- ⇒時間厳守
- ⇒未来に焦点をあてる

#### ■ チェックイン：「今の正直な気持ち」や「気になっていること」などの共有

■ 「目指したい姿の宣言文」の内容の確認

(※第3回分科会議事録の別紙1参照)

□ 政策22の宣言文

- ・ このままで良いということに決定した。

□ 政策23の宣言文

- ・ 括弧書き（宣言文の案が二つあり、そのうちの一つ）のほうがよいと思う。
- ・ 将来を見越した発想という表現がひっかかった。今見通せる範囲でやるという意味を取られると趣旨と違う。柔軟で大胆な、という表現だけでよい。
- ・ 将来を見据えたという表現を入れておいたほうがよいと思う。
- ・ 将来を見越したというのは、将来が見えるか見えないかという問題ではないので、その観点で問題だと思う。
- ・ 将来のことを考えて発想するという観点は問題ない。その趣旨は入れたい。
- ・ 長期的なものと短期的なものを臨機応変に対応することが必要だと思う。
- ・ 長期的なスパンで考えて、短期的には変化できる、という対応が必要。
- ・ それは、柔軟な、という表現と同じことである。
- ・ 長い目を見たという意味で、将来を見据えた、見越したという表現が必要。
- ・ 「柔軟な」や「臨機応変な」という言葉を入れたい。
- ・ ある姿があって、それを何が何でも実現するという意味には取られないか？
- ・ 決められたことに縛られないようにしなければならない。
- ・ 柔軟な、という言葉を入れた宣言文に修正することにする。

■ 事務局より「市民と行政それぞれの役割」について説明

- ・ 「市民と行政のそれぞれの役割」とは、目指したい姿の宣言文を実現するために、市民と行政それぞれがどのような役割を担い、どのように関わっていくのかを指針としてまとめたもの。また、市民と行政に期待したい「想い方」「行動（取組み）」などを具体的に示したものとも言える。
- ・ 「市民と行政それぞれの役割」を検討することで、今後市民と行政が目指したい姿に向けて施策を検討したり、サポートを行ったり、協働する際の指針を明らかにする。
- ・ 「市民の役割」については、目指したい姿の実現に向けて、市民の役割として、期待される態度や行動（取組み）にはどのようなものがあるかを検討する。
- ・ 「行政の役割」については、目指したい姿の実現に向けて、行政の役割として、期待される態度や行動（取組み）を検討する。

■ 事務局より、「指標」についての説明

- ・ 「指標」とは、政策ごとに作成した「目指したい姿の宣言文」の達成状態を表すための尺度のことを指す。あるいは、「市民と行政のそれぞれの役割」を推進することで、高めていきたいこととも言える。

■ 事務局より、指標を検討するねらいの説明

- ・ 目指したい姿の達成イメージを指標として表すことで、より明確になる。
- ・ 目指したい姿を実現するために、具体的に何を行っていけば良いかが検討しやすくなる。
- ・ 指標があると、それに照らして、政策がうまくいっているか、いないかが理解でき、進行状況を確認できる。

■ 「市民と行政それぞれの役割」と「指標」を検討するための素材（アイデア）を個人で検討（個人でポストイットに記入する）

- ・ 「目指したい姿の宣言文」を実現するために、市民と行政にどういう意識をもって、どういう行動をして欲しいかを考え「市民の役割」「行政の役割」として検討する。
- ・ それらの「市民の役割」「行政の役割」を果たしていくことで、何が高まっていったらいいのかを考え、それらを「指標」として表す。

※ 素材の検討に入る前に、委員から質問があった。

- ・ 指標のところは、数値は提言に入るのか？
- ・ 今の段階では数値を出すことは難しい。
- ・ いろいろなキャリアをもった人がいるから、民間のアイデアを入れることが必要だと思ったので、数値を入れてほしい。数値がなかったら抽象的であまり意味がない。目指すべき姿として、松戸市はどの数値を目指すかを入れたい。
- ・ 数値がちゃんと表すことができるものだったら入れるが、そうでないものに関しては入れなくていいと思う。
- ・ それは大前提。表せないものを表現することはない。
- ・ 我々が判断できるかといったら難しい。
- ・ それをやらなければ会議は意味がない。従来の市役所のまとめ方と同じである。
- ・ 満足度は割合で表せるものなのか？努力目標として項目が出るなら、全部に数字が入るとは限らない。入れられるものだけ入れればよいのではないか。

数字を入れることを全否定しているわけではない。こだわりたい内容が数字として出てきたら入れればよい。

- ・ 会社と行政は違って、企業では数値でやっていた。きちんとした統計があるものについては数値化すべき。
- ・ これから2、3時間で見当する時間があるかどうか。非常に難しいと思う。
- ・ 我々市民の感覚で提言すればよいと思う。
- ・ 数値項目として持つべき項目は出てくると思う。
- ・ まずは指標を定めてから検討したほうがよい。先に進むこととする。

■ 作成した素材を全体で共有（ポストイットを模造紙に貼る）

■ 作成された「市民の役割」と「行政の役割」の素材を眺め、感想や質問などを通じて背景を共有

□ 政策22の素材の共有

● 「市民の役割」の検討

- ・ 町会、自治体などが、個人で解決できないものの解決をするために底力を発揮し、行政に働きかけるといったものなどの、似たもの同士の素材をまとめると良いのではないか。
- ・ 横のつながりというのはよいキーワードになる。
- ・ 横のつながり、町内会のつながりがおかしな方向になっている。
- ・ 何かの核があって対話が生まれるのだから、自治会活動やボランティア活動など年代差の付き合いがあって対話が生まれると思う。ご近所付き合いは他世代の交流になる。
- ・ 市政協力委員は一部特定の人が長年やっていて情報が流れてこない。形骸化している現状を改善すべきである。
- ・ 任命制にするとか、公募性にするとかが良い。
- ・ 継続的な対話を続ける中で、市民が行政の話し合いに参加することが必要。
- ・ 市は市で制度をもっと活性化すべき。
- ・ 継続的な対話を市民レベルで考えると行政に頼りきっているから、市民がもっと関心を持つことが必要。そのようなスローガンが必要なのでは。
- ・ 松戸にはいろんな人が入っているし移動が激しいので、役割分担が単発に終わってしまいがち。話をするといったって、なかなか近所の話や役所の話などはしない。
- ・ 身近なところからボランティアに参加しながら対話を進めていけるような役割を作ってゆくことが必要ということか。

- ・ 次のステップとしては、行政に関心を持って、積極的に参加するという事。
- ・ 名前を公表しながら新しい発想、提案をしていき、表彰してゆくことが必要。

#### ● 「行政の役割」の検討

- ・ 対話の場作りというキーワードがたくさん出ている。
- ・ 場を作っただけではなくて、市民ニーズの集約・分析も行ったほうが良いと思う。
- ・ 市の中での情報が共有されていないので、説明責任というキーワードが出たのでは。
- ・ 政策の公平性の確保というのは、多様なニーズに公正性を行政としては担保して欲しいと思って書いた。
- ・ 新しい発想には表彰するというキーワードは、市民だけではなく行政の職員も表彰するという意味である。
- ・ 市民の役割としては3つ、行政の役割としては5つをまとめてみたいと思う。全体会でも話し合う時間があるので、そのときに修正できればと思う。

#### ● 「指標」の検討

- ・ 経営基盤を強化するために全事業を仕分けすることを松戸市としてもやるということを指標にして欲しい。
- ・ 指標にするとすれば、何回やったということを挙げなければならないので、仕分けをすることに異論があるわけではないが、指標にはならないのではないかな。
- ・ 市民と行政が一緒になってやっていくということを今までやったことがないのだから、事業仕分けをやるという指標を入れるべきだ。
- ・ 行政の役割に入れたほうがいいかもしれないとも思うし、参加の場作りの一つのやり方としての捉え方もできると思う。この分科会として提言するものを決めるので、それでは範囲が広すぎる。ここの範囲には収まらない。
- ・ まだ集まる仕組みを作っていないので、そこから目標にしていかないと事業仕分けもできない。次元が違う話である。
- ・ 総合的な評価として、数値的なもので毎年評価していくことは必要だと思う。
- ・ 経営基盤を評価する方法は企業でもある。
- ・ 提言はどこに入るのか。
- ・ 市民の役割、行政の役割の中に入るか、もしくは特に強調したいことに入る。
- ・ 宣言文がどういう形で実現したかを表現するのが指標であって、市民や行政の役割は方法論である。
- ・ そうすると、指標は単なる市民の満足度で終わってしまう。何を達成できた

のかということを表示する、職員の満足度のようなものを入れてもよいのではないか。

- 行政に対する信頼度というのを指標にしたら良いと思う。
- 職員のやりがい、達成度も指標にすればよい。
- 行政の利便性のようなものが、先のアンケートではあった気がするが、そのようなものを入れたらどうか。
- イメージ的には、まだ文章化していないのが腑に落ちないかと思うが、キーワードが出たので事務局でまとめる。

#### □ 政策 2 3 の素材の共有

##### ● 「市民の役割」の検討

- あまり行政に頼らずに、市民が自らできることはやるというスタンスでひとまとまりになると思う。今までがあまりにも行政に頼りすぎている。
- 情報の話が結構出ている。届かないと言うだけではなくて、自分で取りに行く。
- 市民ニーズが実現されているのかどうかウォッチする義務というか、役割はあると思う。
- 税を当たり前前納めすべきだが、そうもいっていないようだ。行政の職員に取りに行ってもらおうというばかりではなく、自ら納めべき。
- 実現されていることが、自分たちが本当に望むことなのか確認すべき。
- 松戸市の財政状況などは自分から見に行くことが必要。
- 行政は市民のニーズの把握をするのが役割だが、市民が、行政がニーズをどれだけ実現してくれているかを監視する必要がある。
- 納税意識の向上については、サラリーマンは控除されているから自営業の人を対象としたものかもしれない。
- 給食費を払わない人もいる。
- 利用料の負担意識の向上を望む。

##### ● 「行政の役割」の検討

- 取るのは税金だけではなく、広告収入も入ると思う。
- 「社会資源の成果を評価する」という意味は、行政経営をきちんとした実現した成果から評価されるべきであるということ。現場主義で把握しろという記事を見て、これは活用できるのではないかと思う。
- ボランティアをもっと使うというのは、市民の役割を入れてもいいと思う。
- そのような場を作るのは行政だとしても、参加するのは市民だから市民の役割である。

- ・ 人的資源というのをクローズアップするなら、時間とお金に余裕がある退職した人をキーワードに入れるべきである。
- ・ 時間が有り余っている人はたくさんいるが、どこに行ったらいいのかわからない。そのところを解決すべき。
- ・ いろいろな人的資源を有効活用できるような場所を作るべき。
- ・ 市民力の活用ではなく、ボランティアの活用ではないのか。
- ・ ボランティアに限ったことではない。
- ・ 行政はお金という形で税金をもらっているが、ボランティアという形で力をもらうこともできる。そのような拠点を含めた仕組みづくりを行政はすべきである。
- ・ 青少年会館でやっている定年を迎えた先生のおもしろい授業をやっている。そのようなことを、広報を使ってみんなに知らせてほしい。
- ・ やはり、行政には発想の転換をしてほしい。例えば広報まつどで広告収入を得るなど。
- ・ 今もホームページのバナー広告や生活カタログで広告収入を得ている。
- ・ 市のイメージアップというキーワードが入るとうれしい。
- ・ 共通シンボルマークなどを作って、市が認めたものにマークを入れるなどしたらどうか。
- ・ 歳入を増やすための指標として何があるだろうか。
- ・ 住んでいる人からの税金だけでは足りないから、観光しに来た人たちからも収入を得られるような仕組みづくりを行政にして欲しい。
- ・ そういうことをしないと松戸はベッドタウンというだけになってしまう。
- ・ 人が来ないことが問題。
- ・ 手賀沼の公園の整備はすごいなと思った。そういうところが松戸にはない。松戸で遊びに行こうと思っても何もないと残念。江戸川周辺に何か遊ぶ場所の開発をしてほしい。
- ・ 21世紀の森には行かないのですか。
- ・ 21世紀の森は散策するためのようなもので、ボートなど遊ぶものがない。だから、松戸にお金を落とすところが欲しい。21世紀の森は駐車料金くらいしかない。
- ・ 観光資源の開発、というキーワードにしたらい。
- ・ 収入を増やすために、新規企業の育成というのを入れたらどうか。
- ・ 提言に、税金というキーワードは直截的すぎるからやめたほうがよい。税金を、どうやってうまく広く負担してもらうかが問題。
- ・ 松戸市の魅力を高めるには行政が協力しないと無理である。
- ・ 松戸の魅力を高めるための政策の仕組みづくりをして欲しい、ということで

ある。

### ● 「指標」の検討

- ・ 船橋や市川と比較して指標を作るとよいと思う。
- ・ 他市と比べることは大事かと思うが、市の状況も違うので、松戸市での適正な範囲を守るのがいいと思う。
- ・ 財政力指数が1を超えるとかの指数を指標にしたらどうか。
- ・ 財政力指数は1を超えればよいというわけではない。企業の売り上げとは違って、それだけでは判断できないので、それを指標にすることは難しい。
- ・ それなら、松戸にあった財政力指数の数値を目標にしてほしい。
- ・ 財政力指数に関しては、指数だけでは判断できないということなのでそれを目標にするのはよくない。
- ・ 素人の市民が提案したということで提案すればいいと思う。
- ・ 同席した我々が意味を理解できないのに提言するのはおかしい。
- ・ この分科会の指標案として採用するのは、歳入と歳出のバランスがとれるということと、満足度ということにする。
- ・ 指標というのは、目標数値を表示するものなのか？
- ・ この分科会の中ではできないことである。
- ・ しかし、近隣市と比べることは必要だと思う。
- ・ 比較しても意味がない。
- ・ 比較は常にやっていることである。
- ・ 今までよりボルテージを上げて比較するべきである。
- ・ 一般市民がただ指標の数値を見てもよくわからないが、他市と比べればわかると思う。
- ・ 指標が他市と比べてよいからといって市民の満足度につながるとは限らない。
- ・ 近隣4市の平均が必ずしも良いものであるとは言えない。そういう面では問題がある。個別に計るものであるから、比較して指標を設定すればよいとは一概には言い切れない。
- ・ 政令指定都市というのは、合併することを言っているのか、研究を続けることと言っているのか。
- ・ 常磐線沿線で合併することの研究を続けていくことを言っている。

■ 「目指したい姿の宣言文」「市民と行政のそれぞれの役割」「指標」の3つの枠組みでは表現しきれないが、とても重要で、ぜひ全体に対して提言していきたいものを「強調したい・伝えたい・具体的な提案・メッセージ」として検討



- ・ 常磐線沿線に限らず、「政令指定都市移行に関する研究を継続する」を提言するということになった。

■ 第5回分科会兼第2回目の全体会の確認

- ・ 日時 平成21年11月7日（土）14時～18時
- ・ 場所 商工会館5階ホール
- ・ 目的 各分科会で検討してきた内容を全体に発表し、未来づくり会議の提案とすること。また、発表内容について、他のメンバー、市民、行政職員からのフィードバックを受けて、検討する機会ともすること。

■ チェックアウト

■ 別紙1 都市経営分科会成果品（案）

■ 別紙2 都市経営分科会（第4回）検討結果資料

以上

目指したい姿の宣言文:

50万市民の満足度向上のために、継続的な対話を経た力強い連携による政策の仕組みづくりをすることによって、経営基盤が強化され、安心して住みやすいまちを実現する。

市民の役割:

- ご近所づきあいやボランティア参加など身近なところから始め、公共への関心を高めて、地域や世代間などいろいろなところで対話を行う
- 市民は、市政協力委員、町会・自治会、防犯組織などが活性化するようにできる範囲で参加する
- 市民は行政に関心をもち、自分が主役だという意識をもち、一人ひとりが原動力となる
- 市民は自ら考え、氏名を公表して行政や町会・自治会などに提案をする

行政の役割:

- 市は、市民ニーズや満足度を定期的に把握し、市政に反映する仕組みづくりを行う
- 市は、政策の公平性・公正性を確保する
- 市職員は、市民のために、自らスキルアップを行う
- 市は、説明責任を果たし、市民と情報共有できるようにする
- 市は、市民や職員からの新しいアイデア・提案については、氏名を公表して表彰する

指標案

(何が高まっていたらいいと思いますか?)

- 市民の満足度（住み続けたいと思う人の割合）
- 市民からの信頼度を測れる指標
- 職員の達成感を測れる指標

## 政策23:財源、財産を適正に管理し、配分する

目指したい姿の宣言文:

市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、将来を見越した柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも見直すとともに、社会資源の有効活用を図ることを通して、発展性のある健全な財政運営を実現する。

市民の役割:

- 市民は、積極的に情報を取得し、市の財政状況をチェックする
- 市民は、政策が実現されているかを確認し、市政を見守る
- 市民は、行政だけをあてにすることはせず、自らできることは、自分で行うようにする
- 納税者は納税義務を果たし、サービスに対する負担をする意識をもつ

-----  
行政の役割:

- 松戸の魅力を高めるような政策を生み出す仕組みづくりを行う（企業の協力による松戸ブランドの創造、観光拠点の開発）
- 財政状況に関する透明性を確保するため、積極的にわかりやすい情報を発信する
- 広告収入など税以外の収入も検討し確保する
- 社会資源が有効に活用されているか成果（どんな未来を描けるか）を評価する
- 市の資産（土地、建物だけでなく文化的、自然的、人的資産も含む）を有効活用する
- 市民力を活用するための仕組みづくりを行う

指標案

（何が高まっていたらいいと思いますか？）

- 財政力を測れる指標
- 歳入と歳出のバランスを測れる指標
- 市民満足度

目指したい姿の宣言文:

**50万市民の満足度向上のために、継続的な対話を経た力強い連携による政策の仕組みづくりをすることによって、経営基盤が強化され、安心して住みやすいまちを実現する。**

市民の役割:

- ご近所づきあい、ボランティア参加。身近なところから。
- 自治会を通してでも自分の発想提案が行政に届く
- 世代間対話の推進
- 各種団体の育成、活発化
- 市政協力委員の活性化
- 防犯組織の強化
- 市民は行政に関心をもつこと
- 自分が主役。一人一人が原動力
- 新しい発想、提案は氏名を公表し表彰
- 適度な市民ニーズの発信

行政の役割:

- 市民ニーズの集約・分析
- 大きい組織であるが市民の声を反映できる体制を
- ニーズの把握を定期的に全世代から得る方法を考え実行すること
- 市民の満足度を調査し、行政に反映する
- 職員の活性化
- 市職員は市民のために自らスキルアップをする
- 新しい発想には表彰する
- 説明責任
- 情報共有の推進

指標案

(何が高まっていたらいいと思いますか?)

- 市民の生活に関する満足度
- 住んでいたい街調査%のアップ
- 市民力を活用した事業の数
- 町会・ボランティアの結成率
- 町会・ボランティアの参加率
- 信頼度
- 職員の達成感

目指したい姿の宣言文:

**市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、将来を見越した柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも見直すとともに、社会資源の有効活用を図ることを通して、発展性のある健全な財政運営を実現する。**

市民の役割:

- 納税意識の向上
- 負担意識の向上
- 市民は情報を自ら取得する
- 実現されているかの確認、見守り
- 行政を100%あてにしない
- 市民は自らできることは自分で行う
- 市民は考えて行動する
- 近況の把握、チェック

行政の役割:

- 松戸の魅力を高める
- 政策の仕組みづくり
- 企業の協力により松戸ブランドの創造
- 観光資源の開発
- 財政運営に関する透明性を確保
- 情報の公開・発信
- 情報をオープンにする
- 税金以外の収入の増加
- 広告収入の検討
- 市有地の有効活用
- 既存建物(空)の有効活用
- 市の文化的・自然的資産の有効活用
- 市民力活用拠点の仕組みづくり
- 社会資源活用成果を評価する
- 支出の先にどんな未来が描けるか

指標案

(何が高まっていたらいいと思いますか?)

- 財政力の測れる指標
  - 歳入と歳出のバランスが図れる指標
  - 満足度
  - ・4市と比較できる財政指標の最善
  - ・市税の確保のため担税力の引き上げ
  - ・財政状況、資源活用成果に関する説明会の数
- ◎政令指定都市の研究
- ・中核市への移行
  - ・事業仕分けの実施